

妊産婦医療費助成事業

母子手帳交付日から出産月の翌月までの妊産婦の医療費自己負担分（妊産婦健診時の追加検査費用含む）について、上限30,000円まで助成します。



出産・子育て応援交付金事業

妊娠から出産・子育てまで、面談等を通じて必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と同時に妊娠届出時（5万円）と出生届出時（7万円）の給付による経済的な支援を行います。



小中学校情報機器整備事業

GIGAスクール構想に関わる教育支援ソフトやフィルタリングソフトの保守業務と、教員や児童生徒のICT機器の活用支援を行うICT支援員を配置します。



不妊治療助成事業

特定不妊治療（先進医療含む）と一般不妊治療は上限15万円まで、不育症治療は上限10万円まで助成します。今年度より新たに先進医療診療に対しても特定不妊治療費助成の中で助成します。



こども家庭センター事業

すべての妊産婦、子ども、子育て世帯を対象に、子育てや家庭のさまざまな悩みや問題に関する相談に応じ、家庭に寄り添った切れ目のない支援、指導を継続して行います。



学校・家庭・地域連携総合推進事業

地域人材の活用による体験活動の提供、地域全体で家庭教育を支える取組みの支援、学校と地域の連携により子どもを育む環境整備を行うことにより、地域の活性化を図ります。



結婚新生活支援事業

にかほ市で結婚新生活をスタートさせる新婚世帯について、経済的不安を軽減するため、住宅の取得費用・家賃・リフォーム費用、引越費用などを補助します。



利用者支援事業（こども家庭センター型）

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援事業を実施します。産前・産後の教室、パパ向けの育児教室、産後ケア事業を実施します。



乳幼児健診事業（生後1カ月児健診助成事業）

3歳児健診では視力スクリーニング機器による屈折検査を実施し、弱視等の早期発見につなげています。今年度から新たに生後1カ月児健診費用の一部（上限4,000円）を助成します。



ハザードマップ作成事業

令和4年度に秋田県沿岸地域が津波災害警戒区域に設定され、浸水想定水位が変更となりました。その内容に基づき津波ハザードマップを更新します。



象潟前川線無電柱化事業

安全・円滑な交通の確保および良好な景観形成、観光振興の観点から無電柱化の整備を行います。事業期間は令和4年度から令和11年度までの8年間で予定しています。



結婚支援事業

出会いから結婚までの支援を行う結婚相談所等に係る入会登録料や活動サポート費の助成を行います。また、地域での出会いの場を提供するイベントに補助金を交付します。



木造住宅耐震化促進事業

地震による木造住宅の倒壊等から市民の生命および財産を保護するため、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震診断、設計、改修工事の費用の一部を補助します。



バス路線代替運行委託事業

市民の足となっているコミュニティバスを引き続き運行します。運賃は一律200円で、市内在住の小中学生、運転免許証返納者等が対象に乗車を無料化しています。



住宅リフォーム推進事業

これまでの補助対象に「高齢者持ち家型」を追加。居住者全員が65歳以上の高齢者世帯に対し、工事費の10/100（上限20万円）の支援を行っていきます。



猫不妊去勢手術費補助事業

手術費用の一部を補助します。繁殖した野良猫の周辺地域への環境被害や、多頭飼育崩壊を防止するため、補助制度を拡充します。なお、飼い猫は従前どおりです。



若者支援住宅整備事業

市が目指す将来像の実現に向け、人口減少・少子高齢化の加速を抑制し、良好なコミュニティ形成による若年層の定住化や地元回帰を促進するための住宅整備に向けた敷地造成工事を行います。



主要事業

ワクワクする事業が盛りだくさん

市のまちづくり方針の7項目を基本とした今年度の主な事業を紹介します。